

豊橋北西部土地改良区

○地域の魅力

地形は三河湾に面し、豊川、豊川放水路、佐奈川の河口部に形成された平坦な地帯で、1/1500の暖傾斜で気温は年平均15.2℃、降水量は1800mmで、国道23号線が豊橋市街地より北西に伸びて、蒲郡市に通じている。地域内の農用地は、昭和27年～33年にかけて整備され、用水は豊富な地下水と天水に依存してきたが、平成13年～15年にかけて豊川用水に加入して、パイプライン化の整備がされた。排水は、樋門排水と5排水機が完備している。

管内の営農は、「米」主体の経営がされているが、近年、兼業化の最も進んだ地域と言える。したがって、米を中心に、野菜栽培においても老令者による経営が大きな支えとなっている。しかし、地域内には施設園芸主体の経営も進み、特に「大葉」や「苺」の特徴ある経営がされて、地区内農業の牽引役ともなっている。

○組織概要

受益面積	128ha
受益地	豊橋市
組合員数	460人
総代数	45人
役員数	15人
設立	昭和59年（1984年）
職員数	0人（委託職員1人）

○取り組み

就農年齢が高くなり、組合員個人での就農が難しい現状となってきたおり、今後の課題として検討しています。また、一方で営農団体に委託する組合員も多くなり、問題解消へ取り組んでいます。